



M81 と M82

春になるとおおぐま座^{さ のぼ}が昇ってきます。そのおおぐまの耳^{あた}の辺りに M81 と M82 という2つの銀河^{ぎんが}があります。M というのはメシエカタログという意味で、フランスの天文学者シャルル・メシエが星雲^{せいだん}や星団、銀河につけた番号の事です。

M81 はボージェの銀河ともよばれますが、これは1774 年にドイツの天文学者ウィリアム・ボージェによりすぐそばの M82 と同時に発見されました。M81 は二つの腕^{うで}がらせん構造^{こうぞう}を描^{えが}いている端整^{たんせい}な銀河で、天の川銀河より少し小さい銀河です。M82 は M81 の近くにみえていて葉巻銀河ともよばれていて、ちょっと不思議な形をしています。この二つの銀河はなんと低倍率^{ていばいりつ}の望遠鏡^{ぼうえんきょう}なら一度に見る事ができます。右の写真は望遠鏡でこの二つの銀河^とを撮ったもので、下に見えるのが M81、上にあるのが M82 です。どのくらい近くに見えるかという見かけ^{ちよっけい}で月の直径^{ちようけい}くらい離^{はな}れて見えます。これがたまたま同じ方向にみえているのでしょうか。地球から M81 までの距離がだいたい 1200 万光年（1 光年は光が 1 年かかって進む距離）、一方 M82 まではなんと 1200 万光年。M81 と M82 の距離は 15 万光年と本当に近くにあるのですね。M82 の不思議な形も M81 の近くにあることが影響^{えいきょう}しているようで、この二つの銀河は数千万年前^{せうせんそうぐう}接近遭遇^{せうじんそうぐう}したことがわかっています。



M81 と M82 撮影：疋田純之
上に写っている銀河が M82、下の銀河が M81

かいせつじん ひきた あつし
(解説員：疋田 純之)